

県道137号（馬天小学校通学路）の花一杯運動

について

～つはこ花咲かす会の取り組み～

南城市津波古自治会 会長

高江洲 順達

県道137号（馬天小学校通学路）の花一杯運動について
～つはこ花咲かす会の取り組み～

南城市津波古自治会
高江洲 順達

1. 津波古の概況

津波古区は南城市の北口の玄関で与那原町と接する。人口は8月末で3,824人、世帯数1,620世帯。南城市でナンバーワンの規模を擁する。かつて馬天区と呼称されて終戦直後スクラップブームで栄えた街で沖縄本島はおろか北は奄美大島、南は八重山から多くの労働者が流入し、賑わった街である。市道の他に国道331号と県道137号、県道138号の公道がある。

2. きっかけは一人の行動「津波古花いっぱい運動」

スクラップブームも去り、南北大東航路も泊港に移り、久高航路も旧知念村安座真区に移り、人の流れが途絶えて、閑静な住宅街に津波古区は変貌した。平成14年旧佐敷町は第1回尚巴志ハーフマラソンの開催を契機にコース沿いを花一杯にしようと運動が高まり同町の玄関口津波古交差点の美化が強化された。当然のごとくマラソンが終われば、後は野となれ山となれの荒れ放題。尚巴志ハーフマラソンのための花一杯運動がしばらく続くが、近くに住む一人の婦人が立ち上がり、年中を通した花一杯運動を一人でやっていた。それに区民が気づき出して、「一人でさせる訳にはいかない」「地域全体で支えよう」と、平成27年1月21日に「つはこ花咲かす会（会長：古堅苗）」が結成された。



つはこ花咲かす会（平成27年1月21日誕生）

3. つはこ花咲かす会の活動

1) 目的

つはこ花咲かす会の結成総会は、11人が結集し、5年間地道に活動を続ける内に現在31人の会員が集まった。本会は「津波古区」と協力して、津波古区的美観の維持向上に努め、地域の連帯の輪を広げることを目的とし、活動方針は、津波古区内の主要道路沿いの花壇の花植え、清掃及び除草、日照りの続くとき又は新植のときの花等への水掛け、その他目的達成に必要な活動（地域住民相互の親睦など）となっている。

2) 組織・役員

会長1名 副会長1名 事務局長1名 監事2名 委員7名

3) 県より道路植栽樹木管理受託

集落背後の県道137号の植樹帯（写真1参照）をきれいにして荒れ地となっていた植樹帯を重点目標にして平成27年の4月1日に、道路植栽樹木管理会結成届けを南部土木事務所に届出。馬天小学校の通学路、クサティ森（土帝君）真下の植樹帯を年2回の草刈り作業、年3回の花壇整備を計画し実行。南城市の玄関口である津波古交差点などを主な活動場所にしていたが、平成29年8月29日から津波古交差点を起点にして西側へ県道137号植樹帯の整地作業を行い（写真2）、馬天小学校前までの植樹帯を花いっぱいにするため、取り組んでいる。毎月第4土曜日午前9時より2時間程度の作業を定例活動日として行っている。全員でやる合同作業は、お互いの健康を気遣いながら和気藹々と汗を流し、その結果地域的美観が高まることで一人一人が充実感を覚え、モチベーションがあがる。そして主体的に4人から5人が毎日のごとく個人プレーで花植え、剪定、草取り等花の管理をやっている。その結果会結成から5年目を迎え地域が見事に変貌している（写真3参照）。

4) フラワーポット事業

津波古交差点は南城市の出入り口のため四季折々の花を咲かせ（写真4参照）、馬天小学校付近まで年次的に約800mの植樹帯に、カンナとムラサキオモトを植えて（写真5）、そのコントラストが映えてドライバーからも高い評価を受けて令和2年2月6日に完了する。通学路に当たる登下校時の時間帯に花の水やりなどの手入れをしながら子ども達を見守る子ども・女性等安全・安心見守り事業（フラワーポット事業）の活動（写真6・7）も平行して実施している。



写真1



写真2



写真3



写真4

起点の津波古三叉路（南城市の玄関口）

写真5



写真6



写真7



毎朝の水かけ

剪定作業（フラワーポット事業）

4. まとめ

一人から始まった街に潤いと安らぎを与えてくれる花一杯運動は、つはこ花咲かす会を誕生させ、行動が次の行動を生み、外からの刺激をもらいながら賛同者が増えていく。自分たちの住む街を綺麗にしようという試みが他人からの評価で自己肯定感につながり、活動に弾みがつく。と同時にシニアのメンバーがほとんどをしめている現状をみるとソーシャルキャピタルの面からも生きがいづくりからも社会的に良い見本になるだろう。つはこ花咲かす会は

- ・令和元年8月9日 令和元年度道路愛護功労者表彰。
- ・令和元年12月15日 第43回全国育樹祭沖縄県緑化等功労者表彰。
- ・令和2年2月21日 第14回「みどり香るまちづくり」企画コンテストで環境大臣表彰。

を受賞

今、わたしたちにできる一人一人の小さな活動が束になれば大きな成果を得られると自覚し、県道137号の花一杯運動を展開している。その活動に児童を代表して平成30年3月1日に馬天小学校を代表して5年生の福原埜乃さんは「花いっぱいを通学路とたくさんの方の見守りのおかげで、安心して学校に通っています」と感謝の言葉があり、花一杯運動は思わぬ効果を発揮して、会員の目も輝きだしている。

つはこ花咲かす会誕生前の県道137号の状況



平成24年3月25日 PTA 草刈作業



平成29年2月28日 PTA 草刈作業

つはこ花咲かす会誕生後年次的に県道植樹帯の整備状況



令和2年2月6日に津波古三叉路から馬天小学校間800Mの植樹帯花壇整備修了



終点が馬天小学校前付近